

平成28年第2回議会報告会でいただいた主なご質問・ご意見について

	質 問 ・ 意 見	回 答
1	地域には、町内会長とコミセンの協議会長がいるが、どちらか一方だけに行政の話が来るのはいかがなものか。	地域事情に合わせた対応をしてもらうよう当局に伝えます。
2	今後の柏崎をどうするのか、柏崎はどうなるのかを考えてほしい。柏崎の方向性を細かいことではなく、マスタープラン的な、在り方を考えてほしい。 柏崎には2大学あるが産大は公立化しなければだめになる状況。 柏崎ではブルボンとリケンの企業がある。そういう企業があるのなら研究機関をもってくるとか。 フロンティアパークの誘致も無理だと思う。 原発の再稼働の問題もあるし、あるべき姿、方向性を総合的に考えていかないと、長岡と合併するのではないかと、ベッドタウンになるのではないかと考えられる。もっと大きな目で考えていかなければならない。	議会としても将来の柏崎のあるべき姿を、各常任委員会において議論をしています。 大きなところは第五次総合計画として取り組むこととなります。 行政の進め方は、政策・施策・事業という流れであり、今までの報告はこの事業のことであります。 第五次総合計画は市民の方の検討委員会で出てきたことを議会でも検討している状況にあります。
3	第五次ということは一次から四次までであったことになる。全てボトムアップだった。上がってきたことをまとめて適当な文言を付け加えてやっているのが総花的になっている。つくっても忘れてしまっている。振興計画をチェックするときに思い出す程度。第五次ではなく新生柏崎の構想の発想でないといけない。総花的になる前に各分野では計画をもっているのだから、それを寄せ集めただけになっている。はっきりと物を申した方がいい。	ご指摘の点は、多くの議員は共有しています。議会としても各議員、委員会から事業提案もでてきていますが、優先順位の問題は残ります。第五次総合計画においても、法定計画を抜粋しただけとの意見があるのも事実です。当局と現実に即した計画になるよう議論を重ねております。
4	本来議員は地域住民の声を生かして行政と対峙していくことが目的だと思う。 市役所跡地は今コンサルに委託しているだけ、その結果を見て対応するという動きを議会は見ている状況。一步踏み出して住民との対話で問題になっていることを行政に議会として、住民の代弁だとして考えてほしい。跡地問題を議員としてどう考えているのか。跡地については議会として議論にならないのか、そういうところが住民の声を聞いてないことの代表的な例になる。跡地問題などで話し合う時、議会の皆さんはこの議論の時に話し合いに出てくるのか。小中一貫教育についても、同じことを柏崎でも行っていると思うし、一体化することがいいのかについても直接担当課とやり取りしてほしい。	承りました。 現庁舎跡地利用については新庁舎特別委員会委員長に伝え、申し込みがあった場合は対話の対応について正副委員長において日程調整をして可能な限り対応します。
5	市役所を建設する理由は何か。	一番の理由は老朽化であり、耐用年数が経過していることが最大の理由。耐震補強工事を重ねても耐用年数は変わりません。

	質 問 ・ 意 見	回 答
6	市役所建設に伴い、公共交通機関の利用を促進し、活性化させてはどうか、例えば、市職員に通勤で越後線、信越線を利用してもらう(週4日以上)。	ご意見として承ります。
7	タクシーの営業所がなくなる予定がある。公共交通やデマンド方式を使えばと言われるが、タクシーは自由に行きたいところに行ける。高柳は一人暮らしの老人世帯が増加している。75歳以上は免許を返納の時代、高齢者の足が無くなる時代になってくる。公共交通だけでなくタクシーの様な交通機関を残してほしい。	柏崎市公共交通活性化協議会において検討をしているところであります。
8	7月の市長との懇談会で、このまま黙っていれば、40年後の人口は4万人になるとあった。市内とへき地を比較してへき地は減る率が高いと思う。いろんな施設を有効利用するも人間がいなくては意味がない。人口減少を止めようとしているが本当に止められるのか。	現在第5次総合計画(平成38年までのもの)を策定中。人口増はとも望めないが、減少を緩やかなものとするために、出生率を1.4から1.8に高めたいとしています。 子供をたくさん産み育てやすいまちを目指すことなど若者定住対策にかかってくると思いますが、とても厳しく難しいことであると思っかからなければならない。
9	人口減少対策というが柏崎市に目玉がないと誰も来ない。一例をあげれば水道料金や電気代を無料にする等の目玉がないのか。	人口減少問題に特効薬はないが暮らしやすさ、働きやすさ等を議会として政策提言していきたい。
10	柏崎市にも公共施設の整備の計画あると思いますが、府中とは違う環境と思いますが、すり合わせとかの検討はしているのか。	柏崎でも白書はまとめられていますが、どうするかを検討をしている状況です。
11	産大をどうしていくのか。ぜひ公立化してほしい。	全員協議会等でも将来的な運営費や修繕費等の具体的な数字があがってきていないのが現状。産大に対する関係者の感情は理解できます。議会としては調査研究中であります。
12	人口減少問題はどこの自治体でも同じである。人を呼び込むには柏崎には原発があるのだから電気料金を半額にする等の大胆な施策が必要である。議会でそういった議論をしたことがあるのか。	魅力の発信、人口減少問題にはまちひとしごと創生や第五次総合計画、シティーセールス推進事業等で対応していきたい。
13	少子化人口減少はどこでも大変。先を考えると難儀な面が出てくる。どこかの会議では、現在をどのように楽しく、健康に過ごすのかによって先が進んでいくことになる。先を考えてもうまくいかないこともある。地域に目を向けて、住みやすい環境にしていくかを頑張っていけばいいのではないかと思う。別所地域でもコミセンを中心にやれるところはやっていくので、議会の方でも策があったら情報を共有してやっていきたい。	高柳でも同じような意見をいただきました。そこではもっと議員が出てきてほしいと言われております。妙案ができましたら委員会ごとにも皆様のところに出向いてまいりたいと思います。

	質 問 ・ 意 見	回 答
14	核になるものが見えてこない。柏崎の売りが何なのか、シティセールスにしても、シンボルマークはできたが、盛沢山すぎる。議会でもアピールする部分を検討してほしい。	シティセールスに関しては議会でも多くの議論があり、何を売りにするのか意見が分かれました。 柏崎市の売りになるものが決まっていないのが問題であると考えます。推進協議会が検討していますが、議会としても提案をしてみたい。
15	シティセールスは外に向かっているのか、うちにも向かっているのか。趣旨を市民に伝えてほしい。	シティセールスの本来の目的は柏崎の価値を高めることにあります。
16	転出者が多い状況だと感じている。何が理由なのか。対応はできないのか。	議会としても真剣に受け止めています。 特に若い女性が転出している傾向にあります。就職や進学の場合に、転出する人が多いようです。人口減少、少子化に対する決め手はありませんが、多様な施策で転出者を少しでも減らしてみたい。
17	公共施設の廃止について現在の4分の1くらいを減らすと記憶している。例えば使っていない小学校を無くすとか、コミセン等をどうしていくのか、そのあたりの状況は。	一昨年に公共施設白書を作成し、今後これを活用し、適正な施設配置や保全管理、将来を見据えた公共施設の在り方について、方針や計画を策定すると聞いており、これから利用廃止を検討するところです。 例えば高柳は市役所と一緒にやろうと話し合いをしています。 各施設は市民ニーズによって作ってきました。時代が経過し、いらなくなったとしていいものか、地元が話し合い、決める必要があります。
18	貧困から持ち家も持てず結婚もできない問題が社会問題化してきている。少子高齢化対策に三世代同居に減税措置を設けていただきたい。	まちひとしごと創生総合戦略や第五次総合計画で対応していきたいと考えます。 リフォーム補助金等がありますので活用していただきたいと思います。
19	赤道を市道にした際に分筆登記をしていない土地が多い。将来、問題になる可能性があるののできちんと法的処理をしてほしい。	議会としても同様な問題が市内に多くあり問題ととらえています。当局に伝えます。
20	防災無線はどうなるのか。	現時点の方針では平成32年以降FM放送(FMピッカラ)を防災無線として使用していくことが計画されています。
21	柏崎市の人口の状況は。	現在は約86,000人で、5年前(平成22年国勢調査)は約91,000人。旧柏崎市が約87,000人台で合併(平成17年)し、2町合わせると当時は94,000人台でありました。減少規模は高柳町、西山町の人数がそっくり減ったこととなります。
22	高尾地区は世帯数が18軒。この18軒で神社、観音様、公民館を維持管理している。更に住民数が減るとなると維持管理が大変な仕事になる。何らかの支援策を考えてもらいたい。	集落の維持は切実な問題であり、議会としても重要な課題と認識しています。

	質 問 ・ 意 見	回 答
23	活用できる空き家もあるが、どうしようもない廃屋のような空き家もある。そのどうしようもない空き家の問題をどうするか。	所有者の特定ができないことが多い。今までも解決されてきている特定空き家も約20数件あるをご理解ください。
24	前川に架かる橋で雌雄の橋があるが、何軒かの世帯で利用している実態があり、市への譲渡を考えているが、どうしたら良いのか。	まず、町内会で合意を得て、担当課に相談していただく方が良いと思います。
25	空き家問題として、中央地区の本町通りはシャッター街になっている感じがする。諏訪町には1軒傾いている空き家がある。それ以外にも諏訪町には8軒の空き家がある。市に話しても検討すると言われるだけ。シャッター通りにならないためにはどうしたらいいのかも市長懇談会でも話を出している。	財産権があって勝手に処分できない現状がある。すぐに税金を投入してどうかできるかとなるとできない状況がある。一部の県や市については国の事業を活用して、全額ではないが何分の一かの補助を出してそれを処理しようとしている動きがある。柏崎市では今年全戸調査することになっているので、その後行政として動くことになる。
26	差し押さえて市のものにして壊して土地を売ればいいのでは。市として検討しているというばかりで進展が不安。人命にかかわることだし、代執行しているところもあるのだから、金はかかるがこの物件はやるべきだと思う。	
27	観光について、道の駅は観光の重要拠点である。柏崎の道の駅はどこにあるかわかりますか。国道からあれだけ離れていては道の駅とは言えない。今からでも一つでも国道の脇に大きいのを考えるように考えていかなければならないのだが、そういう発想がないのはおかしい。	米山、西山、高柳が指定されているが、米山はやっていない。今後課題として議会側としても提案していくべきと思う。一般質問等でも位置的なことや今の現状についても問題意識をもっているし、委員会でも話をしていく。
28	8号バイパスは何十年経ってもできないではないか。難しいだろうが、公共事業はいろいろ手を付けるのではなく、集中して行えばいいのではないか。考えてほしい。	遺跡調査がかなり長引いている。1年間止まって遺跡調査している。その先も遺跡が出てくると1年間止まってしまう。遺跡が出てくるとどうしてもやらなければならない。それが大きな課題。調査して報告書をまとめなければならない。国道としては予算配分としては東北のこともあり、どうしてもここだけにはということは厳しい。市長をはじめ議会としても常に問題意識をもっている。避難経路としても早期に開通することが急務と考えている。
29	3常任委員会ともに視察先で見えたことの報告があったが、柏崎の取り組みと比較し市政に活かしていくという説明が欲しい。成果があった取り組み、成果が無かった取り組みのいづれもあるが、何をやって成果がどうだったか説明すると説得力がある。	先進地だけでなく、成果が出なかった問題があった取り組みの視察も必要と思う。指摘いただいた点は今後の行政視察、常任委員会活動に活かしていく。
30	高柳でも校舎の利用についてどうするのか声が出ている。「地元で考えて」ではなく、視察で学んだ利用方法があるのだから活かして欲しい。地元負担をかけないでもらいたい。	地域の要望や意見を最優先していることは理解いただきたい。廃校舎は、総務、文教、産業建設のそれぞれで再利用の仕方があると思う。先進地の事例などの情報を議会報告会などで紹介していきたい。

	質 問 ・ 意 見	回 答
31	今回の視察は東京などが多いようだが、例えば廃校の利活用にしても高柳と同じような立地条件の自治体を視察し参考にしてはどうか。	柏崎に置き換えられるような自治体を狙って視察することも考えていきたい。
32	柏崎にはじよんのび村、ソルトスパと2つの温泉があり観光資源になっているが平日は利用者が少ない。温泉だけでなく、頑張っている施設に人が来てもらえるような取り組みを考えていただきたい。	じよんのび村は若干業績が改善している。先進地では広告媒体を使い施設だけでなく話題性を入れて取り組んでいくことで集客を増やしている。話題性やストーリー、歴史なども取り入れた広報を検討していく様に当局に申し入れる。
33	市の財産の管理について悩んでいる。市が言う管理内容と地元が必要とする管理の内容は違う。例えば市道の畦畔の草刈りをしなければ、カメムシ被害で1等米が3等米になってしまう。そのために年3～4回の草刈りが必要になるが、市では地元で管理してくれと言うだけで動かない。財産管理の要望がスムーズに上がる風通しの良い仕組みを考えてほしい。	当局に申し入れる。
34	中央台団地に30年。公園が2つくらいあるが、事故があつてか、町内で管理してほしい(電気代から何から)と市からあつたが、お金がかかりすぎるのですべて撤去した。その後若い人が住み始めてきて、ここに公園がないのかとの声がある。子供を育てやすい環境としてすべり台があつてもいいのでは。	子どもの遊び場の整備に補助金を交付する制度がある。町内で活用してもらいたい。
35	昔は仕事をする場所があつた。根本的なことは働く場の確保、市が企業グループを育てて働く場をつくること。起業家が集まるように、これが根本であろう。街をどうするかを考えてほしい。	リーダー塾、社長のたまご塾など市としても取り組んでいる。
36	昔は経費の削減の名目で職員の出張旅費が削られ、情報も取れなくなっていた頃があつた。今はそうでもないようでよかった。一般質問の後のフォローをきちんとしてほしい。言いつばなしのききっぱなしで終わらないように。検討しますと言われたら、その後の状況を確認しないといけないので、検証してほしい。	承ります。
37	産業建設委員会では空き家対策に対する視察は間に合わなかったのか。	空き家の視察をしたいということもあつたが、間に合わなかった。県内の上越市や燕市の状況は先進事例として受け止めている。どんなことをしているのかを把握して一般質問していることもある。空き家については今年度調査した実態を見て、今後の視察に反映していく。
38	道の駅には毎日観光バスが何台停まっているのか調べてほしい。ほとんど停まっていない。	利用件数や実績は報告を受けているので委員会で調べればすぐわかる。観光の拠点としては道の駅は重要な位置づけになっているので認識している。議員は高い意識をもっている。

	質 問 ・ 意 見	回 答
39	市道補修の要望について市はいつも部分補修での対応。全面改良の方が効果があるのではないかと。府中市インフラマネジメントを参考にしたい。	市は橋梁長寿命化やインフラ整備計画をもとに対応を進めるが、財源をどうするかが課題。要望は当局に伝えます。
40	29年予算に向けた方向性について最重要課題は何か。	3常任委員会ともに多方面にわたる予算付けが必要であると考えられるがとりわけ人口減少対策を最重要課題としていきたい。
41	視察の報告だけでなく視察をしたうえでそれをいかした柏崎市の方向性を報告してほしい。	貴重なご意見として承る。
42	視察の報告を受けて人口を増やすには就労の場を増やすしかないと思うのだが常陸太田市と柏崎市ではその点どのような差異があるか。	常陸太田市では企業に奨励金や固定資産税の減免措置を行っている。柏崎市の場合も固定資産税の減免や電気料金の引き下げ等で企業誘致対応を行っている。
43	里山が荒れ放題になっている。	要望として承るが林業者の育成だけではプロになるまで時間がかかるため伐採機オペレータの育成等を提案していきたい。
44	人口減少対策について視察しているが、柏崎の場合人口減少の原因はどこにあるのか。また、少子化の原因と対策はどのように考えているか。	年間死亡1,200名、出生500名という自然減が大きい。そこで、子育てしやすい環境整備や出生率が低いことから移住者増に取り組んでいる。福祉・介護の環境を整備することも大切であり、企業誘致、雇用の場の確保など総合的な対策が大切と考えている。
45	毎年視察しているようだが、どのように活かしているのか。市とどうやって良くしていこうと考えているのか。若い世代が何を求めているのか、など議論に結びついているのか。	府中市では役所内部で3億円の削減をしたが、柏崎市でも削減できるのではないかと考える。府中は人口は多いが面積は少ないところですが、そこで3億削減している。柏崎はもっと大きな金額を使っているため、もっと大きく削減できるのではないかと。
46	予防保全という話があるが、少しのうちに補修すれば経費的にも抑えられると思うが、市の場合はこれからその方向になるのか。	ぜひそのような方向性の管理にしていきたい。
47	東京でも豊洲など問題になっている。議会も当局から知らされない限りわからないと思いますが、議会としてはどのように評価しているか。柏崎では起きていないと思いますが、どう考えますか。	市当局、議会、市民がもっと高い関心をもって地域のことを考えることが大切だと思う。当局が知らせないことをこちらで調べてわかることは難しい。今、公文書管理法という法律ができ、事業を起こすとき、どのような議論があつて、企画書ができて、事業実施まで明確な文書が残っていないことが問題。柏崎市も成案に至るまでの記録を残していこうというようになった。但し、過去には遡及しません。

	質 問 ・ 意 見	回 答
48	派遣労働法の改悪は弱い者いじめである改善するように国に働きかけてもらいたい。	要望として承る。
49	インフラマネジメントは理解できるがアルフォーレ等の利用料金が高すぎる。見直せないか。	公共施設の利用料金については他施設では値上げしたものの方が多い。要望として承る。
50	ガス事業の民営化について、既存の市内事業者はどうなっていくのか。	産業建設常任委員会において地元の認定ガス工事事業者を積極的に利用すべきであると働きかけている。
51	府中市のインフラマネジメントで約3億円の圧縮ができた理由は何か。	インフラ長寿命化と民間委託また、管理にボランティア団体を導入したことが主な要因である。
52	議会の委員会視察はわかるが柏崎とは状況が違うと思われる。市内の視察はあるのか。	決算時に各委員会ごとに関係箇所を現地視察している。
53	四谷通りの一方通行解除について様々な意見があるが一方通行解除には道路幅の拡幅が条件であると思う県と連携して拡幅してもらいたい。	要望として承る。
54	柏崎の魅力発信事業というが駅前に何も無い新庁舎ができるのであれば物産店くらい併設すべきである。	市当局としても検討課題としているようである。
55	少子化人口減少はどこでも大変。先を考えると難儀な面が出てくる。どこかの会議では、現在をどのように楽しく、健康に過ごすのかによって先が進んでいくことになる。先を考えてもうまくいかないこともある。地域に目を向けて、住みやすい環境にしていくかを頑張っていけばいいのではないかと思う。別俣地域でもコミセンを中心にやれるところはやっていくので、議会の方でも策があったら情報を共有してやっていきたい。	高柳でも同じような意見をいただいた。そこではもっと議員が出てきてほしいと言われた。妙案ができましたら委員会ごとにも皆様のところにはせ参じていく。
56	市議は市民の意見を聞いたうえで、ある程度の提案をしていくのが必要なのではないか。リーダーシップをとっていただきたい。	いろんなものがあってもこれといったものがない。それをどう結び付けていって、観光の目玉にしていくのかをつなげていこうにしたい。道の駅にしてもこれからの柏崎の結びつきの核になっていくのかも議論している。観光にしても一つ一つが弱い目玉がないのだが、一つ一つを結び付けて大きな観光の核にできるようにこれからも議論を続けていく。 商売はどうすればいいのかについては、行政の方は感覚的にも経験的にもそう強くはないと思うので、その点を議会で少しでもフォローして行ければと思う。

	質 問 ・ 意 見	回 答
57	柏崎も予算がないという話を聞いている。インフラのことだが、街路樹についてもそんなに大きくならないようなものを植えればいいのではないか。大きな街路樹ではなく、石を置くものいい。街路樹はお金がかかるので考えてほしい。	産業建設ですべて扱うわけではないが、インフラ公共施設の長寿命化について行っている。街路樹については明確に明記していないので、コストのかからない、手のかからない街路整備についてその市に特徴がある植栽をして、景観を整える必要がある。
58	道路維持のために草刈りをしていたことがあった。なぜ除草剤を使わないのかと言ったところ、環境に悪いという。今の除草剤は土に戻る。道路の縁石のところに生えている雑草には除草剤を有効に使ってほしい。	貴重なご意見を賜りました。
59	空き家が増えてきている。水上町内でも増えていて、朽ちていっている。危険があり景観も悪い。市でも条例を立てて見直しをしているようだし、特定住宅として調べたとしても情報が伝わってこない。	空き家条例を周知していく。
60	空き家対策で困っているが、すぐに応じてくれないことは分かるが、緊急的なネットをかけるようなことを検討してほしい。	市としては緊急処置をしていく制度がある。これまで60数件が特定空き家に認定され、29件くらいが解消した。いまだに解消されないものもある。ネットをかけたりワイヤーで引っ張ったりする簡単な補強したりすることも可能。しかし持ち主の了解を得ることが必要で、費用も支払ってもらうことになる。しかしなかなかうまくいっていない。今年から所管の課が変わり専門家が対応している。担当課の方も一生懸命にやっているの、進んでいくと思われる。
61	初めて参加した。以前、町内会長をしていたが、その頃は当局によく要望を聞いてもらっていたが、今は予算がないのでなかなか要望しても実現ができないという返答が多い。	財政は厳しいが、知恵を出してやっていかななくてはいけない。当局は財政数値を良くするために努力をしているが、市民サービスが低下する恐れがある。現在の市民と次世代に影響する借金のバランスを考えながら判断していかなくてはいけない。
62	近くには石地小、高浜小とある。校舎は利用されているが、体育館・グラウンドはだいぶ荒れてきているところ。早めに努力して、地域にあった設備にしていきたい。	柏崎市と同様な状況(廃校を抱える)にあるところを視察することとした。議会としても行政とともに積極的に活用策を検討したい。
63	石地での経験であるが、まず統合が先で跡地利用が二の次となり、体育館がまだ解決していない。これは市役所移転、その後の跡地利用には手が付かず遅れてしまっているのと似ている。困っていると思うのでしっかり対応していきたい。	ご意見として賜りたい。
64	南鯖石小学校は鉄筋校舎、跡地利用について地域でも模索している。維持管理費の負担を行政として考えてほしい。市としては跡地利用をどのように考えているのか。	跡地利用は行政機能を備えないと、市として維持管理や解体時の費用負担はできない規則がある。委員会としても大きな問題ととらえている。要望は当局に伝えます。

	質 問 ・ 意 見	回 答
65	奨学金で進学し、就職後返済することになっていると思うが、返済できない人がいると聞く。一方、ふるさと納税制度で済んでいるところの税金の控除ができる。奨学金の返済をふるさと納税で代替させることはできないか。	アイデアとして参考にさせていただきたい。現在、奨学金の滞納者は当市ではないと聞いています。柏崎市では奨学金受給者が地元に戻ってきた場合、条件はあるが償還者に補助する制度もあるのでご理解ください。
66	高浜小のことだが、廃校がくず置き場となっている。ごみの処分、草刈りをする等、責任をもって管理していただきたい。	クズではなく遺跡調査に伴う土砂の仮置きである。草刈り等については当局に伝えますが、地域としても行政に伝えていただきたい。
67	翔洋中等教育学校について、開校時の約束と違って、現在、中学生(1,2,3年生)に対し、市として給食を提供していない。一方、はまなす特別支援学校に対しては提供されている。翔洋に通う生徒のうち大半の保護者は市内に勤務されていると思うが、県立の学校において差がみられる。事実関係を知りたい。	県は開校から10年は給食運営費の負担をすることとなっていた。10年以降について負担継続の協議したが継続とならず、翔洋中等教育学校独自の給食となりました。
68	練馬区の「こども発達支援センター」は廃校を4校利用し多くの利用者がいるが、スタッフは区役所の職員でまかなっているのか、外部の人間でやっているのか。	区役所の職員ではなく、外部のNPO法人に委託している。常勤20名、非常勤30名、非常勤医師8名の体制で運営している。
69	高齢化が進み、今でもこれからも老人クラブが地域を維持している。神社の掃除、生産組合にしても出てくるのは老人クラブの方々。地域でも組織化して地域の維持管理をしていくので、老人クラブに目を向けた支援をしてもらいたい。	高齢化は進んでいくが老人クラブが減っている現状がある。地域の活動の中心は老人クラブであると理解しているし、その活動への支援策を委員会で検討していきたい。
70	今までの経過として努力は認めるが、大学を2つ設置したのは、人材を作るためではなかったか。地元自身、この大学に入るような施策をとるべきだ。	ご意見として承りたい。
71	子育て中のお母さんと話をする中でのこと。先ほど公園の話も出たが、こどもが寄り集まって遊ぶ場所がない。(例えば、いきいき館の使用例として、予約をしてその時間帯を使用)誰もが来てよい、というわけにはいかない。気兼ねなく集まり遊ぶ場所がほしい。	ご意見として承りたい。

	質 問 ・ 意 見	回 答
72	生活困窮者の学習支援はどのように取り組まれているのか。また、委員会としての問題意識をどのように持っているのか。	<p>柏崎市でも生活困窮者学習支援を今年度から始めようとしている。10数人の該当者に話をしようとしているが、指導者が少ないということで9月にも再度募集がかかった。指導者の登録が増えてきているので少しずつ現実味を帯びた活動になってきている。委員会としても文教厚生常任委員会だけでなく、志のある議員が超党派としても福祉課を中心に話を進めている現状があるので、改善してきている。成果が出るのはしばらくかかると考えられるが進んでいることは事実である。昨年度介護報酬が2.27%引き下げられることになって、その影響もあって柏崎の介護事業が大きく変化してきた。第6期の介護計画が大きく変更になった。委員会では議論しているし、問題意識をもっている。市独自の施策も委員会として考えていかなければならないと思っている。介護保険事業は国や県からの通達や補助率から市町村でやらなければならないこともある。しかし、現場からの声を聞いて柏崎市の介護保険事業がうまくいくようにしていく。民間の方もどうなるのかについても心配が多いのは分かるので、委員会の方でも議論していく。</p> <p>先進事例では介護職についている人は市営住宅に入るときは半額にするという支援をしているところがある。こういうことを含めて委員会で議論していく。働き手を増やすことをしなければならぬところが一番の課題と認識している。</p>
73	中通地区のコミデイの運営費補助が250万円と10年間変わっていないため、安すぎる。最低賃金価格との兼ね合いもあるのでなんとか増額してもらいたい。	当局につなぎます。
74	医療に関して、総合医療センターがあるにもかかわらず大きな手術だと長岡や新潟になってしまう。新たな総合病院を作ってほしい。無理なら総合医療センターをよくしてほしい。	<p>地方の医師不足は全国的な問題の中で医師確保に努力しています。柏崎市管内では第一次救急医療(外来で対処しうる帰宅可能な軽症患者に対応する救急医療)、第二次救急医療(入院治療や手術を必要とする救急医療)を実施し運運営補助を行っています。この二次救急では対応できない一刻を争う救急患者、高度な処置を必要とする手術などは長岡市の病院と連携しているのが現状です。人口減少傾向の中での新たな総合病院の建設は困難な状況です。</p>
75	確かに生まれる子供より亡くなる方が多いのは分かるが、子ども対策だけで生め生めで増えるのか。高校まで出しても柏崎に就職なりしないで出て行ってしまう。柏崎の魅力(豊かな自然、産物)を生かして、地域内で金を回していけば増えるのではないかと。親がここではだめだというようではだめだと思う。施策も良いものたくさんあると思うが、まだ足りないと思う。もっと、U・Iターンで子育て世代から熟年世代まで手厚く見る必要があると思うが、どうですか。	限られた予算を優先順位をつけて重点配分していくことが大事と考えている。議会の議論の中では、定住化や街をどうするかでいろいろな考えがある。誘致や地場産業支援、起業支援など進めているところである。

	質 問 ・ 意 見	回 答
76	夏期や放課後の小学生の受け入れ体制について 指導員不足、指導員、補助員の待遇や手当が安すぎる手厚い支援をしてほしい。	要望として承る。
77	高学年児童の放課後クラブの受け入れ態勢について5、6年生も受け入れてほしい。	要望として承る。
78	長岡市のように小学校に隣接するような形で児童館を併設してもらいたい。	要望として承る。
79	若い人が結婚をすることが前提だと思う。婚活について議会はどのような活動をしているのか、どのように考えているのか教えてほしい。	子ども課の方で婚活事業をしている。外部委託として今は農協と商工会議所が受けられている。成婚が今までに22組ある。市としても委託事業ではあるが、力を入れている。委員会でも環境を重点に考えていて、さらに人が集まりやすいように提言したり議論したりしている。
80	少子化対策として柏崎はどのような取り組みをしているのか。	婚活事業として他の事業者と一体となって出会いの場の取り組みを行っている。また不妊治療費の助成や子育て支援事業も行っているが、これをすれば即少子化の解消につながることは難しい。これからも様々な施策をめぐらせて少子化対策につなげていきたいと思う。
81	柏崎市では別俣小学校の他に廃校に至った学校はあるのか。	石地小学校、高浜小学校、野田小学校、南鯖石小学校、門出小学校がある。石地小は小規模特養、野田小は文書庫、南鯖石小は現在第五中として活用している。